

海外からみた

With/Post コロナ時代の

新たなまちづくり・都市計画と仕事

「BLM がアメリカの都市計画分野にもたらしている動き」

井関 博之 (いせき ひろゆき)

University of Maryland, College Park 准教授

「アメリカ大都市の地域格差と居住問題

—移民都市ロサンゼルスでの研究生活」

- ・アメリカの大都市における住宅問題と家賃補助政策
- ・コロナ禍でのロサンゼルスでの大学・まちの状況
- ・アメリカの大学での研究生活
- ・ポストコロナ時代の都市 など

式 王美子 (しき きみこ)

立命館大学政策科学部 准教授

講師：井関 博之



現職は、メリーランド大学カレッジパーク校の建築、都市計画、歴史保存、及び不動産分野を統括する学部の准教授。また、同大学のスマートグロース研究所での研究職を兼任。日本の大学で電気工学科の学士・修士を取得後、自動車製品関連の外資企業で勤務。平成10(1998)カリフォルニア大学ロスアンゼルス校(UCLA) 公共政策社会研究学部都市計

画学科修士号取得。その後、UCLA 公共政策社会研究学部交通学研究所及びルイスセンター地方政策研究所研究員として勤務しながらUCLA 都市計画学科博士号取得。博士号取得後、UCLA で研究員兼講師として務め、オハイオ州トレド大学、ルイジアナ州ニューオリンズ大学での教職を経て、現職に至る。専門は、交通政策・計画。特に、交通、土地利用、環境、およびさまざまな社会経済的グループ間のニーズの多様性に特別な注意を払いながら、モビリティとアクセシビリティの提供における効率性、有効性、公平性のバランスをとることに焦点を当てている。現在、京都大学経営管理大学院に滞在中。

講師：式 王美子



早稲田大学社会科学部卒。UCLA (University of California at Los Angeles) にて修士号及び博士号を

取得 (Ph.D. in Urban Planning)。同志社大学講師を経て2010年より立命館大学政策科学部准教授。専門は都市住宅政策、ワーキングプアの居住問題。2019年9月よりUCLA Lewis Center for Regional Studiesの客員研究員として米国都市における家賃補助政策について研究活動中(2021年8月まで)。共著：いま、都市をつくる仕事 未来を拓くもうひとつの関わり方



日本都市計画学会関西支部国際交流委員会 国際都市計画セミナー

日時：11月21日(土) 12:00~14:00

会場：Zoomによるオンライン

*事前申し込みのあった方に、Zoomのリンクをお知らせします。

対象：主に大学生・大学院生(無料)

申込・問合せ先：京都大学経営管理大学院 大庭哲治

(Mail) oba.tetsuharu.5n@kyoto-u.ac.jp